

◎9月22日(日)開催 第3115回例会
単独例会 シリーズ山の三角点・その4
「西神戸背山の三角点を訪ねる」

布引支部 水野 謙一
写真 松本 良一・勝田 徹

心配していた台風12号は、昨日迄の予想より南東側を通るようで、朝からの天気も思ったより良くなり、気分が優れる。「六甲山地の三角点を例会に取り入れて訪ねる」という企画には、会報4月号の例会案内で目にしてから興味を持っていた。残念ながら第1回目(その1)は雨天のため中止となったが、その2及びその3は決行されたので参加し、それぞれの三角点を確認することが出来た。そして本日はその4～菊水山から鍋蓋山～再度山～堂徳山～市草山・碓山・・・のコースである。



鈴蘭台駅の南側で出発前のミーティング

神鉄鈴蘭台駅 8:30 集合。ローカルなイメージの強かった神鉄沿線であるが、新しい鈴蘭台駅はそんなイメージを払拭し、明るく素晴らしい駅に変身している。そんな駅へ次から次へと降り立ったのは我がヒヨコのメンバーが大半であった。

会長挨拶の開ロ一番「48名もご参加頂いた！コロナ自粛から少しずつ例会参加者は増えてはいるが25名前後だったのに対し本日は2倍のご参加、ビックリ仰天です！！」とのことでした。

菊水山への登りのイメージは、どうしても縦走コースの起点となる南側山麓からが頭に浮かぶが、そのコースではどうしても登山者が多い。従って、ハイカーの少ない鈴蘭台側から登るコースにされたとの説明にも納得がいく。神鉄沿いに歩くこと約15分、北側からの登山口に到着。ここはNTT菊水無線中継所(山頂に有る大アンテナ)の専用車道が山頂手前まで付いており、登山道の一部としても歩くことが出来る。



神鉄沿いに列をなして歩く参加者



登山道入り口で軽くストレッチング！



登山道から NTT 専用車道に出て一息入れる

私達は車道と別れ、沢沿いに設けられている登山道に入った。僅かではあるが、せせらぎの音と小鳥のさえずりに癒されながらゆっくりと歩く。菊水山も毎日登山が行われているとのことで、地元の方達の健康道場となっているのがよくわかる。NTT 専用車道を横切り木の階段を上ると、又車道に出てすぐに簡易トイレのある場所に着いた。トイレ休憩や水分補給で一息入れる。



小休止タイム。縦走路と比べ余裕？の歩きです！

車道を 20 メートル程歩いたところに東屋があり、菊水山登山会の署名所があった。周囲を含め、東屋は整理整頓が行き届き感心する。すぐ先から小さな池を超えて急な階段状を登りきると縦走路に出た。ほどなく菊水の山頂であった。



菊水山 (458.83M) の三等三角点 (点名/下谷上) 山頂は大勢のハイカーが休んでいた。さすが縦走路中ベスト 3 に入るシンドイ登りだが、人気の山である。三角点の場所を確認させていただき、展望休憩タイムに入った。

菊水山はかつて大角木山(おおつのきやま)という名の山であったこと。山頂にある山名碑は、昭和 10 年の楠木正成公 600 年祭の時、これを祝って建立されたこと。碑に刻まれた「菊水山」の文字は、当時の第 8 代神戸市長であった勝田銀次郎氏の直筆によるものであること。そして、かつてはこのコースに魅力を感じ登られる登山客のために設けられた秘境の駅？「神戸電鉄菊水山駅」があったが、時代と共に利用客が激減し、平成 17 年の 3 月で休止、平成 3 年 3 月で廃止駅となったこと等々、集合時に頂いた資料に詳しく記載されていたので興味深く山名碑を眺めなおした。

菊水山の山名碑





菊水山の山名碑をバックに。

さて、ここからは縦走路を東へ歩く。少し下って右手に少し入った440Mのピークへ案内して頂いたが先客がいてすぐ元へ戻った。ウィークデーなら誰もいないのでゆっくりと展望休憩を楽しめるとのこと、機会を見つけ是非来たいものだ。しばらく緩やかに下り、少し登り返した場所が405Mの「城ヶ越・じょうがごし」と言う場所であった。縦走中だと気にもせず只通り過ぎる所であるが、孤高の人加藤文太郎が山の先輩と岩登りのトレーニングで良く訪れた岩場がその下にあることなどの説明を受けながら下って行った。

天王吊橋を渡り、鍋蓋山への登りにかかる。高低差約250Mの登りはさすがにキツイ！！ゴロゴロした足元のツズラ折れを黙々と登

る。。。。。

木の階段を登りきる頃には汗がしたたり落ちてきた。



鍋蓋山への登り。さあ！もう少しがんばれ！

最後の岩場を登り、大岩を巻いて上がると平坦な縦走路となる。振り返ると、菊水の山頂あたりが望め、多少なりとも山登りの達成感が湧いてくる。



鍋蓋山（486.15m）の四等三角点（点名/鍋蓋山）

11時30分鍋蓋山山頂に到着。三角点は縦走路の傍にあり、確認は容易であった。

ゆっくりと昼食タイムを楽しんで三つ目の三角点に向かう。再度山へむかう縦走路は、今夏の酷暑を忘れるほど爽やかであり、足取りも軽く感じられた。

再度山大龍寺の境内に到着し、同行して下さった環境省神戸保護官事務所の中村レンジャーさんからお話を伺った。今回は、「マダニ」につ

いてのご講義で、マダニの実物資料などを持参されておられ、大変興味深くお聞きすることが出来た。



中村レンジャーの講義を熱心に聞く参加者



本日最後の三角点は、堂徳山にある三等三角点だそうで、分かりづらい場所のようだ。毎日登山の碑（善助茶屋跡地）の前から南に延びた登山道を下り、二本松林道の入口からドライブウェイを渡って市草山方面へ向かう。途中、行き

止まりの道標柱をかまわず入って行くとすぐ右側の草むらに目指す三角点があった・・・。



堂徳山（337.52m）の三等三角点（点名/ロー里）

ヒヨコに入会させて頂き5年目に入っているが、昨年まで仕事の関係で参加できないことが多かった。しかし、最近は極力参加し楽しませていただいている。楽しい企画に感謝です！！



降りて来たよ～！（ニュー乙女隊のお二人！）

天 候 晴れ

参加者 48名（内ヒヨコ会員42名）